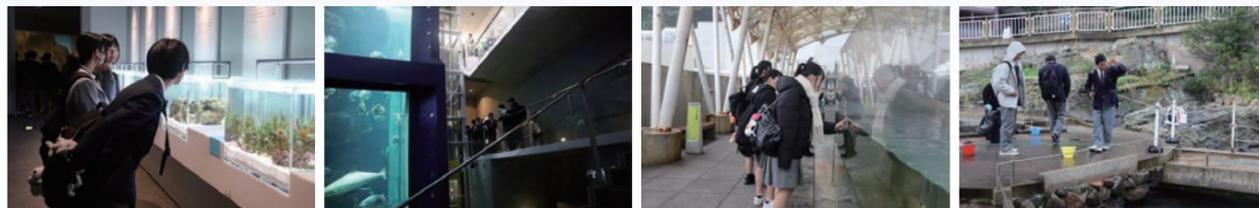


11月22日 1年生：ジオ学 秋の校外研修 城崎マリンワールドで貴重な体験。

本日、1年生がジオパーク学習の一環として、但馬地域のジオパークスポット「城崎マリンワールド」で、校外研修を行いました。
 今回の研修のテーマは、ジオパークの自然を楽しみながら地域の交通資源や探究課題について考えること。往路と復路で異なる交通手段を利用し、車窓から見える風景を楽しみつつ、JR利用の利便性や課題を実体験。地域とのつながりを再認識する貴重な機会となりました。



目的地の城崎マリンワールドは、あいにく肌寒く雨模様。生徒たちは、展示されるさまざまな海洋生物を観察し、イルカショーやライブステージ、トドのダイビングなどのダイナミックなパフォーマンスを満喫。さらに、小雨の中で挑戦したアジ釣りでは、自ら釣り上げたアジをその場で調理して味わうという貴重な体験も。「自然と触れ合う楽しさ」を感じることができたようです。
 この研修を通じて、但馬地域の自然と文化の奥深さを学んだ1年生。彼らの好奇心が、次の学びや地域への貢献へとつながることでしょう。

11月18日 後期生徒総会と TEAS 学習会

本日、令和6年度後期生徒総会とTEAS学習会が7限目に行われました。生徒会執行部の準備したプレゼン資料により、とてもスムーズな流れの総会となりました。



つづいて、TEAS学習会。地球温暖化がもたらす自然災害の実例を紹介し、その恐ろしさを学習しました。その後、私たちが取り組める活動として、岩美高校が毎年行っている活動について説明があり、12月3日に予定されている「裏山整備」への参加を呼びかけました。このTEAS学習会は、環境への理解を深め、実践的な活動への参加を奨励する有意義な機会となりました。

10月28日 令和6年後期生徒会長立候補者による「立会演説会」

本日、後期生徒会長立候補者の立会演説会を行いました。
 立候補したのは、2年生の田中君1名。
 立会演説会では、前期生徒会長の内田君が、「立候補者の田中君は、1年生の時から生徒会執行部で学校のために活動を行い知識が豊富なことに加え、部活動も頑張っています。様々なことに一生懸命取り組む田中君を生徒会長に推薦します。」熱いメッセージを送りました。続く演説で田中君は、学校の未来を見据えた2つの公約を力強く訴えました。「全生徒が安心して学校生活を送れるよう、意見箱を設置し、皆の声を反映させたい。そして、頭髪基準の緩和やあいさつ運動の強化といった改革を推進したい」と意欲を語りました。
 演説会の後、生徒たちは各教室にもどり、投票を行いました。
 開票の結果、令和6年度岩美高校後期生徒会会長に、田中君が選ばれました。



鳥取県立
 岩美高等学校

瓦版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和6年10月・11月～

第9号

岩美高校
 ウェブサイト



学校ウェブサイトへアクセスすると更に詳しい情報をご覧いただけます。

虹嶺祭 熱狂の3日間

10/15(火)16(水)17(木)

10月15日(火)から17日(木)の3日間、秋のビッグイベント「虹嶺祭」が行われました。

今年のスローガンは「虹嶺祭 楽しまないと厳しいって」です。この言葉通り、会場には生徒たちの情熱とエネルギーが満ち溢れ、多彩なパフォーマンスやイベントで大いに盛り上がりました。



DAY 1 ステージパフォーマンスで開幕!

ステージ発表は、吹奏楽部の演奏で幕をあけました。日々の練習の成果も相まって力強い演奏が一機に会場内の熱を高めました。そして、1年生から順番にステージ発表。ダンスや歌、お芝居など、日頃とは違う一面を見せる驚きのパフォーマンスが続出。予想を超える才能と創意工夫に、会場は拍手と歓声で大盛り上がりでした。



DAY 2 模擬店、ステージイベント、クラスイベント・展示。

今年は、雨模様のため、中庭ステージを体育館に移しステージイベントが行われました。腕相撲トーナメント、焼きそば早食い大会、コーラ早飲み大会、カラオケなど、サプライズ続出のステージに会場は終始笑顔に包まれていました。また、3年生の模擬店は大人気! 「たこせん」や「カレーうどん」、「フルーツ&フライドポテト」などのメニューを楽しむ生徒たちの笑顔が印象的でした。そして、PTAの模擬店では、無料で焼きそばとかき氷が振舞われ、お腹一杯お昼を楽しんでいました。クラスイベントや展示は、1・2年生が連日18時まで残って準備し、各クラスの思いやチームワークをカタチにしていました。

DAY 3 白熱の体育祭でフィナーレ!

最終日は待ちに待った体育祭! 伝統の借り人競走やパン食い競争、ムカデ競争に加え、全員の団結力が試される綱引きが行われ、歓声が響き渡りました。特に、HR 対抗リレー決勝戦では、クラス全員が一丸となって応援し、青春の一コマを共有する姿は圧巻でした。



今年の虹嶺祭も、生徒たちの情熱と友情、そしてクリエイティブなエネルギーが輝いた3日間でした。それぞれが精一杯の力を発揮し、仲間との絆を深めた学校祭でした。

10月4日 岩美北小学校と手話で交流 2年生



本日は、手話言語基礎 1 の授業の一環で、生徒 9 名が岩美町立岩美北小学校を訪れ、4 年生の小学生たちと楽しい時間を過ごしました。この事業は、手話を通して小学生と交流を行うことを目的とし、毎年行っています。最初に、グループに分かれての手話による自己紹介。好きな食べ物や趣味などについて、小学生たちがとても上手に手話を使っている姿に、高校生たちは感心している様子でした。

続いて行われた「あいさつジャンケン」では、手話を交えたゲームにみんなが活発に参加し、大いに盛り上がりました。さらに、「楽しい」「大好き」「美味しい」といった表現を、高校生が実際の会話で示しながら一緒に練習する場面もありました。

授業の最後には、小学生たちから「新しい手話を覚えられて嬉しい」「家族にも教えたい」といった感想が次々と寄せられ、交流の充実感が伝わってきました。そして、高校生たちから交流のお礼として、一人一人に手作りのメダルが贈られ、小学生たちに喜びの笑顔が広がりました。

帰り際には、小学生たちが花道を作り、感謝の拍手で高校生たちを見送ってくれました。高校生たちの表情には、充実した交流の喜びがあふれ出ていました。



10月31日 岩美町立みなみ保育所で 2 年生が保育実習



2 年生の福祉系を選択する 9 名の生徒が、岩美町立みなみ保育所を訪問し、保育実習を行いました。この授業では、園児との交流を通じて幼児への理解を深め、保育士の仕事を体験しながら学ぶことが目的です。



みなみ保育所に到着した生徒たちは、園児からの元気いっぱいの声に迎えられ、自然と笑顔が広がりました。その後、体育室へと移動し、音楽に合わせた体操や楽しいゲームを通じて園児たちと触れ合い、笑顔と活気に満ちた楽しい交流の時間を過ごしました。



実習の最後には、高校生が鬼役となり、園児の帽子を奪う追いかけて「帽子取り鬼ごっこ」で盛り上がりました。はじめは、遠慮がちに鬼役をしていた高校生ですが、園児の様子を観察しながら、帽子を取っていました。園児との触れ合いを通して、どのように接するべきかを実感できた貴重な時間となったようです。高校生も園児たちも終始笑顔であふれた今回の実習。大変充実した経験と成長の実習となりました。



11月13日 福祉・フード類型 3 年生 赤ちゃんとのふれあいで学ぶ命の尊さ



本日、岩美高校 3 年 3 組の福祉・フード類型の生徒 17 名が、保育実習授業の一環として「赤ちゃんふれあい会」を体験しました。この特別な授業では、乳幼児とその保護者の方々と直接触れ合うことで、乳幼児への理解を深めるだけでなく、命の大切さや育児における保護者の視点を学ぶことを目的としています。

授業では、19 名の乳幼児とその保護者の方々と福祉実習室にお招きし、90 分間にわたる交流が行われました。生徒たちは赤ちゃん遊び、抱っこし、その小さな命のぬくもりや尊さを肌で感じました。また、乳幼児の行動を観察し、自分たちがどのように接し、守り育てていくべきかを考える貴重な時間となりました。

赤ちゃんの愛らしさに自然と笑顔がこぼれる生徒たち。しかし、楽しいひとときの中にも、命の重みや責任感をしっかりと学ぶ姿が印象的でした。



11月12日 3 年生スポーツ類型：歴史に触れる散策「道竹城跡」

本日の 3 年 2 組のスポーツ類型の授業では、岩美高校校歌にも登場する古城「道竹城跡」へ登りました。岩美高の第 2 グラウンド横にある標高約 150m の山が城跡です。今回は岩美中学校側からのルートで登頂。秋晴れの空の下、数人の教員も同行しながら、足腰を鍛える絶好のコースです。



近くにあるながら、その存在に気づきにくい道竹城跡。今回の授業を通して、「歴史に触れ」「体を鍛え」「地域を知る」3 拍子が揃った有意義な授業となりました。

11月21日 岩美高応援歌を踊る～1 年生女子体育～

1 年の女子生徒が、体育授業の一環として「岩美高校応援歌」にダンスの振り付けを考え、授業で発表しました。岩美高校応援歌の歌詞には、仲間を信じ、自分を信じて挑む生徒を元気づけるメッセージが込められています。1 クラス 3 グループに分かれ、歌詞の意味をしっかりと理解しながら振り付けの考案に取り組みました。この授業の目的は、曲を通じて愛校心を育み、仲間と協力し合い、体全体で曲を表現すること。どのグループも工夫を凝らし、今日の発表に向けて練習を重ね、オリジナルダンスを披露しました。



○ 1 組の様子 ○

○ 2 組の様子 ○

地元からの熱いエール

10月22日 岩美まちづくりの会様から女子バレー部へ新米贈呈

今年も、いわみまちづくりの会様より、新米をいただきました。お越しいただいた岩美まちづくりの会の横田さん、中道さんより、女子バレーボール部の永田さん、森さん、福島さんに、ずっしり重たい30kg 米袋が5袋手渡されました。生徒たちは、いわみまちづくりの会と地域の皆様の温かい支援に感謝し、「いただいたお米でしっかり体を作り、今後の試合に挑んでいきたい。」とお礼の言葉を伝えました。



11月14日 女子バレー部：たなか農園さんより青パパイヤいただきました！



今年も岩美町のたなか農園さんから、とびきり新鮮な「青パパイヤ」をいただきました！田中さんは毎年、岩美高校女子バレー部を心から応援してくださり、「青パパイヤでパワーをつけて活躍してほしい」との想いを込めて贈ってくださいます。手に持つとずっしりと重く、田中さんの熱いエールが伝わってきます。この青パパイヤを食べて、女子バレー部はさらにパワーアップ！これからも全力で挑み続けます！コートの上でその力を存分に発揮していきます。田中農園さん、ありがとうございます！

10月23日 岩美駅前に彩りを添える！岩美駅前プランター植栽

本日、3年生の選択授業「農業と環境」の選択者18名が、授業の一環で、岩美町商工会、岩美観光協会、岩美町役場、岩美まちづくりの会の方々と、岩美駅前を彩るプランターの植栽を行いました。植栽を始める前に、岩美まちづくりの会の中道会長より「花を見て、駅を利用する人や学生が気持ちよく過ごせるよう、一緒に頑張らしましょう」と挨拶がありました。

用意されたプランターは30個。生徒は1人が1～2つのプランターを完成させます。まずは、土入れからスタート。次に1つのプランターに3つずつパンジーの苗を植えていきました。どの生徒も、土を敷くところからスタートするのは初めての様子ですが、手際よく進めていきました。完成した30個のプランターはとても美しく心が和みます。

生徒からは、「どの花もとてもきれいで、植栽も簡単で楽しくできました。皆さんと協力して作業ができてよかったです。」「岩美町のために、このような活動ができてよかったです。」「岩美駅が華やかになってうれしいです。」といった声が聞かれ、達成感と喜びに満ちた表情が印象的でした。

プランターは、岩美駅正面左側の花壇に並べられ、訪れる方々を温かく迎えています。ぜひ、岩美駅をご利用の際には、立ち寄ってみてください。



11月11日 後期避難訓練

水消火器を使った消火訓練も実施

本日、後期防災訓練が行われました。今回は、化学室からの出火を想定し、生徒と教員が第1グラウンドへ避難しました。火災を告げる放送が流れてから、全員の点呼が完了するまでわずか4分。迅速に避難できました。



さらに、岩美消防署員の方々をお招きしての消火訓練も実施されました。生徒たちは水消火器を用いて消火の手順を学びました。火災発生時の「火事だ！」という声掛けの重要性を再確認しながら、目標を狙う消火体験。数名の生徒が果敢に挑戦しました。



災害はいつ、どこで起こるかわかりません。この訓練を通じて、いざというときにパニックに陥らず、冷静かつ適切に対応する力を身につけました。

11月14日 「秋風を切って走る青春のサイクリングツアー」 地域との連携でついに実現！

3年生の探究学習の1班が、岩美町商工会および商工観光課の皆様とともに、過去の探究学習で卒業生が提案した「岩美町サイクリングロード」を実走しました。当日は、秋晴れの爽やかなサイクリング日和となりました。

3年生は2学期から、3年間お世話になった岩美町への感謝を込めた探究活動と、卒業後も心に残る思い出作りをテーマに探究学習に取り組んでいます。本日はその活動の一環として、地域の魅力を発見し、共有する特別なサイクリングツアーが実施されました。

コースは岩美駅を起点とし、美しい自然を感じるルートを辿ります。コスモロードを通過して、牧谷方面へ。途中に、カキツバタの名所の説明を聞きながら海岸線へ。右手に美しい浦富海岸を眺めながら、荒砂神社をめざしました。

荒砂神社で、本日のサイクリングの無事をお祈りした後、次は田後方面へ。岩美町が誇る絶景、菜種五島や城原海岸をながめながら走ると、心がオープンになり自然と、商工会、商工観光課の方々と会話も弾みます。



田後から網代を通り、山陰松島遊覧のり場横の港カフェで一休み！岩美ならではのハンバーガー「ホタルイカバーガー」とドリンクで、エネルギーチャージをしたら、後半コースのスタート！



後半は、平坦な道ではありますが、車の通りが少し多い道を走りました。途中、大岩駅でストップし、駅を散策しました。毎日、乗っているJRですが、大岩駅で下車することはない生徒たち。自転車までやってきて、駅を歩くチャンスなんて、滅多にできない体験です。最後に立ち寄ったスポットは、「道の駅きなんせ岩美」。ここでは、本日より一緒にサイクリングにご協力いただいた方たちと記念撮影をしました。

そして、ゴールの岩美駅に到着。約2時間のサイクリングでした。本日の学習は、岩美町商工会と商工観光課の皆様のご協力あってこそ。生徒たちは、地域の魅力を再発見しながら、地元の方々との交流を通じて感謝の気持ちと絆のありがたさを実感しました。この日の経験は、卒業後も心に残り続ける青春の1ページとなることでしょう。

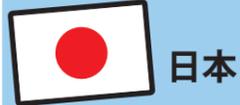


10月23日 食で広がる笑顔！料理を通じた文化交流 2年1組

2年1組の生徒が、料理を通じた文化交流授業を行いました。クラスに在籍するメキシコからの留学生レヒナさんと、ALTのジャックさんを中心に、食を通じて文化の違いを知り、表現力やコミュニケーション能力を育むのがこの授業の目的です。本日のメニューは、メキシコ料理「タコス」、アイルランド料理「ベーコンキャベツ」、そして日本食「巻き寿司」。生徒たちは国ごとのグループに分かれ、異なる文化の味に挑戦しました。



アイルランド料理はALTのジャックさんが担当。英語のレシピをもとに生徒たちに丁寧に説明しながら、ベーコンを小さく切りキャベツを加えて煮込む、伝統的なアイルランドの家庭料理を作りました。生徒たちは、料理の手順を英語で学びながら、新たな表現を身につけました。



日本食は、はじめに担任の細田教諭が巻き寿司の作り方を生徒に披露。お馴染みのお寿司ですが、いざ自分で巻くと見た目以上に難しい様子。生徒たちは苦戦しながらも完成度の高い巻き寿司を仕上げていきました。



メキシコ料理のタコスは、タコスの皮のトルティーヤと具材3種類を調理しました。トルティーヤは、粉から手作り。こねた生地を専用のプレス機で薄くし、フライパンで焼くと本格的なタコスの皮が出来上がりました。留学生のレヒナさんは、上手に日本語とジェスチャーで生徒たちに作り方を伝え、見事なタコスが完成しました。



出来上がった3つの国の味を堪能した生徒たち。一緒に笑顔で料理を味わうひときは、まさに言葉や文化の壁を越える瞬間となりました。生徒たちは、食を通じた交流の素晴らしさを実感したようです。

11月27日 デジタル鑑賞技術「Walk View」を使って絵の世界を歩く

本日1年生が、美術の授業の一環として、デジタル鑑賞技術「Walk View」を使って、絵画の鑑賞授業を行いました。講師に、鳥取県立博物館の美術復興課専門員の外村さん、専門員兼学芸員の佐藤さんをお迎えし、博物館に所蔵されている絵画を美術室のスクリーンに映し出し鑑賞をしました。「Walk View」は、まるで、絵の中に入り込んだような疑似体験が出来るデジタル鑑賞ツールです。

生徒からは、「初めて1枚の絵を40分かけて見た。じっくり見ることでいろんなことに気付けた。」「1つの絵に四季が描かれているように感じた。想像力をはたらかせて鑑賞ができた。」「次回、美術館に行ったときは、もっと時間をかけて鑑賞したい。」など沢山の感想が聞けました。



11月27日 文学バトル！ 2年1組が挑んだ 裁判形式ディベート

2年1組の文系文学国語を選択する生徒が、授業の一環として、井伏鱒二の名作『山椒魚』をテーマに裁判形式のディベートに挑戦しました。

授業で生徒たちは、検察側と弁護側に分かれ、『山椒魚』の主人公である山椒魚の行動について討論を展開。作品の奥深さに迫りながら、白熱した議論が繰り広げられました。



弁護側は山椒魚の無罪を主張し、検察側は懲役8年を求刑。生徒たちは、小説の内容を研究し尽くし、作品のセリフや登場人物の心理描写を深く掘り下げ、あらゆる可能性を想定した綿密な準備を重ね、議論に臨みました。ディベートは時間制限と質問ルールが厳格に設定されており、生徒たちは与えられた時間を最大限活用して自分たちの意見を主張。授業の終わりには、社会科教員2名がディベートの判定を行いました。弁護側の主張に勢いを感じた場面もありましたが、判定は、検察側の勝利。



判定を行った教員も小説を読み、ストーリーの内容や場面の状況を冷静かつ公平に判断した結果、検察側の主張が妥当であると説明がありました。この授業で生徒たちは、ただ小説を読むだけでは味わえない新たな楽しみを見出したようです。ディベートという形式を通じて、物語の登場人物やストーリーへの理解を深めるだけでなく、他者との意見交換を通じて作品の見方を広げる貴重な体験となりました。



11月20日 自己理解・他者理解のための講演会：運動で心と体を健康に！

本日、第7限目のLHRでは、Fitness Jaーんぐる代表の澤晶子さんを講師にお迎えし、「運動で心と体を健康に！体すいっちストレッチ」をテーマに講演と活動を行いました。



フィットネスの意味を学ぶ
澤さんは講演の冒頭で「フィットネスとは何か」についてお話くださいました。フィットネスとは、急な出来事にも冷静に対応できるような「心」と「体」にゆとりを持った状態を築くこと。その説明の中で、フィットネスは単に病気でないことを指すのではなく、「肉体的」「精神的」「社会的」に満たされた状態であると語られました。



オリジナルストレッチを創作
講演の後半では、心と体にゆとりを持つために効果的な「ストレッチ」創作に挑戦。澤さんからストレッチの多くの効果について学んだ後、グループに分かれてオリジナルストレッチを考案しました。そのストレッチを音楽に合わせて実践すると、自然と笑顔が広がり、体が温まり、活気がみなぎる様子が見られました。

やる気スイッチの重要性
澤さんは講演の最後に、「元気や、やる気を引き出す<やる気スイッチ>を見つけよう」と提案され、「これをするとやる気が起きる」「成功すると信じられるスイッチ」を日常生活に取り入れることで、前向きになれるとアドバイスをいただきました。